清明小学童クラブ保護者アンケートの課題と対策

保護者の皆さまにはアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。
昨年度回答率：34%　今年度回答率：46%とウエブ上アンケート回答を実施し、他の学童クラブは低い解答であったにもかかわらず、清明小学童クラブは回答率が大幅にアップしました。
子どもが楽しく通っているというご意見もいただきましたが、下記のようなご意見もいただきました。職員みんなで話合いも行い、改善に向けて努力していきます。

●夏休みの映画鑑賞無くなって残念
夏休みは長時間の育成になり、保育園のようにお昼寝もない中、猛暑が続くと子どもたちも限られたスペースで、時間をもてあましてしまうようです。短時間の上映や「映画会」といったイベント的に実施する事を考えていきたいと思います。
地球全体が温暖化傾向にあり、学童クラブの夏休みの運営もかなり厳しくなっていると全国学童保育研究集会で気候変動にも視野を広げている丸山啓史氏（京都教育大学）より聞きました。昨年の夏休みも同様、高温の日が続きました。夏休みの育成の仕方についても、限られた環境の中で工夫をしていく必要があると感じております。
清明小学童クラブではそれでも 1 日朝の早い時間に少しだけ外遊びをしてシャワーを浴びるという工夫をしています。また、清明小学校さんの協力で夏休みの空き教室の活用で教室をお借りできています。

●長期休みのお弁当について
今年度、保護者の方が仕出し弁当に取り組んでもらえ助かりました。感謝いたします。それでもご家庭で持参するお弁当は保管の工夫が必要ですね。保護者の方の意見のように、冷蔵庫に全員分入れるのは、スペースの関係で出来ない状況です。
子どもたちが持ってきたお弁当は、鞄やリュックからお弁当を出して、涼しい場所で保管するようにしております。

●ケガがあっても、職員からの報告や連絡は、子どもからしかなかったというご意見。
ケガだけでなく、トラブルなどについてもお伝えするようにしております。大変申し訳ありませんでした。今後とも十分注していくよう、職員で共有しております。万が一、そのようなことがございましたら、どうかご一報いただけますようお願い致します

●一部職員の暴言を耳にすることがある。
職員研修については、5月に法人として職員の姿勢について、子どもの人権についての研修を子どもの育成に関わる職員全員対象に実施しております。また、子どもの人権を

大事にした遊びの研修も年間４コマ実施しております。それでも、暴言を聞かれたということですので、法人としては浸透していないということになりますので、研修の方法などについても検討していきます。
また、そのようなことがあった時には、すぐにご連絡いただくと改善につながりますので、お手数をかけてしまいますが、他の職員や法人へご連絡いただけたらありがたいです。（学童のしおり 12 ページに連絡先がございます）

●けん玉はやりたい子どもだけでいいのでは無いか
その通りだと思います。法人の考えは、当法人の学童クラブの理念としてあげているとおりです。けん玉という遊びがあるということを知ることは大切です。

●友人間で何かあったときは教えてほしい。
学童であったことは出来るだけお伝えするようにしておりますが、お伝え忘れていたことかも知れません。職員同士の共有をさらに丁寧に行っていきます。

●３年生までの育成しかないのがとても残念、土曜日だけでもお願いしたい
１日休みのときに、１日中子どもがひとりで留守番することになるので、保護者の方々にとってはご心配だということだと思います。それは他の学童クラブの保護者からもでておりますので、法人としては、行政へそのようなご希望があることを伝えていきたいと思います。

●ノートでの子どもの様子がわからない、どのように過ごしているのか不安
　学童での育成は、14 時に子どもたちが帰ってきても、15 時に帰る子どもさんもおります。
　学童クラブは子どもがひとりで来て、ひとりで帰って行くのがほとんどです。一度に大勢の子どもが帰ってくるので平日の放課後は、子どもたちの健康観察、連絡帳チェック、欠席連絡や降所時間の変更などの確認をします。連絡無く来ていない子どもの確認で学校に確認したり、同時におやつの準備をします。一度に大勢の子どもが帰ってくるので、連絡帳に子どもの様子を記入することは困難な状態です。
保育園のように昼寝中に記入